平成２９年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂　博　　羽立　秀光
調査実施年月日	平成３０年２月１５日（木）
調査先　自治体名等	徳島県阿南市
調査項目	新庁舎建設事業について
調査目的	新庁舎建設事業について
報告内容 実施したこと	１　視察先（市町村）の概要 人口：７３，０１９人　行政面積：２７９．２５k㎡ 四国の最東端に位置し、那賀川水系により形成された沖積平野とリアス式海岸をもつ臨海部、また、四国山系の東端に連なった山地からなる豊かな自然があふれる徳島県東南部地域のまち ２　視察内容 ・新庁舎建設事業について
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	◎　建築経過 ・平成１７年３月、庁舎建設基金条例を制 ・　〃　１２月、基本構想、用地選定等を検討する「庁舎建設特別委員会」を設置 ・平成１８年５月、基本構想の内容を検討する「阿南市庁舎建設推進委員会」を設置し、また、庁舎建設事業に関する意思を決める「阿南市庁舎建設推進本部会議」を設置 ・平成１９年９月、市民参加による「阿南市庁舎建設市民懇話会」を設置 ・平成２０年８月、「阿南市庁舎建設基本構想」を策定 ・平成２１年３月、現在地での建設を決定 ◎　新庁舎建設の３つのコンセプト ①市民・議会・行政３者の協働の姿を表した庁舎 ・開放的な内部空間と効果的な免震性能を実現するために、１階から３階の外周に二重の梁を配している。竹林をイメージして「竹林トラス（梁）」と呼んでいる。 ②安全・安心をかたちにした庁舎 ・南海トラフ巨大地震を想定し、震度７クラスの揺れにも対応できるよう免震構造を採用している。免震装置は新庁舎全体で３４基配置し、庁舎内の設備機器・配管の破損や家具などの転倒を抑える。 ③光と風をデザインした省CO_2モデル庁舎 ・低層部の屋根は、太陽光発電パネルを備え、直射光を遮りつつ自然光を取り入れる。太陽光発電パネルは、最大１００ｋＷの電気を発電する。屋上緑化は、断熱効果による省エネ効果や癒し効果が期待できる。全面ガラスの喚起空間（グリーンボイド：風の道）は、館内で温められた空気を最上階まで導いて放出する。３階から６階西面に設置した木製（杉材）ルーバーは西日を遮る。執務室には、全館ＬＥＤ照明、自然換気、自然採光を取り入れる。執務室の窓側に設置されている自然換気システムで空調を調整している。